

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	広島県	事業実施主体	広島県、尾道市	地域再生計画名	「地場産業が息づく活力と観光で賑わいのあるみなとづくり計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	広島県土木建築局 港湾漁港整備課長、尾道市産業部 農林水産課長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	千年港について、外郭施設及び係留施設等を整備することにより、小型船舶26隻が安全に係留できる区域を確保する。（平成29年度小型船舶11隻）	0隻	H26	11隻	H29	0隻	26隻	H31	△	中間評価時点では、係留施設配置検証の結果、新たな作業が必要となり成果の発現には至っていない。このため、計画の見直し及び事業の推進を図ることにより、事後評価時には、目標を達成する見込みである。
	指標2	横田漁港について、係留施設を整備することにより、小型船舶35隻の安全な係留を確保する。（平成29年度 小型船舶35隻）	35隻	H26	35隻	H29	35隻	35隻	H31	△	中間評価時点では、車両の乗り入れの安全性を確保することにより、新たな作業が必要となり、成果の発現には至っていない。このため、関係事業との調整を図り、事業を推進し、事後評価時には、目標を達成する見込みである。
	指標3	串浜漁港について、外郭施設及び係留施設等を整備することにより、小型船舶20隻が安全に係留できる区域を確保する（平成29年度小型船舶10隻）	0隻	H26	10隻	H29	0隻	20隻	H31	△	中間評価時点では、港内の十分な水深の確保と防波堤及び係留施設の整備が未実施であるため成果の発現には至っていないが、計画の見直しを図ることにより、事後評価時には、目標を達成する見込みである。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	該当無し									

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業 外郭施設 係留施設 水域施設	135m 2基 1.0ha	64m 0.5基 0.5ha (予算換算)	135m 2基 1.0ha	係留施設配置検証の結果、当初予定していない新たな作業が生じた。施設整備の早期完成と効果の発現を目指し、今後事業期間の延長をすることで、引き続き事業推進を図りたい。
	漁港整備事業 外郭施設 係留施設 水域施設	40m 2基 0.65ha	14m 0.6基 0ha (予算換算)	94m 2基 0.45ha	事業を進捗するなかで、荒天時、港内に漁船20隻を安全に停泊させるためには、浮桟橋の係留方法の変更と既存防波堤の嵩上げによる静穏度の向上が必要であることが判明した。このため、今後、事業費の増額と計画期間の延長をすることで、事業の推進を図りたい。
その他の事業	瀬戸内 海の道構想	瀬戸内の魅力を世界に発信し、瀬戸内の認知度とブランド力を高め、国内外からの誘客増大を目指すことで、地域の再生を図っていく取組を実施。			地方創生の実現に向けて、国内外からの多くの観光客を誘致するべく、瀬戸内の魅力の国内外へのプロモーションや受入環境の整備、地域産品の開発誘導等、官民が連携しながら、瀬戸内ブランドの確立に取り組んでいる。
	瀬戸内クルージング促進事業	「瀬戸内海クルージングポータルサイト」を運営し、今までにない形の新たな観光需要の掘り起こしを実施。			沖浦漁港フィッシャリーナをはじめとした県内のビジター桟橋等の情報発信を行っており、県内におけるプレジャーボートの利用促進を図っている。
	田島横島食文化伝承会組織の活動	地域の特産品を料理教室やアンテナショップでのPR活動など、幅広く周知し、漁業振興の活性化に繋がる取組を実施。			田島横島食文化伝承館での魚のさばき体験等の料理体験や、広島アンテナショップの「銀座TAU」でのPR活動により、漁業振興が図られ、地域の活性化に繋がる取組が実施されている。
	東部地区における水産環境整備事業	海藻が付着するための投石や構造物の設置により、漁場機能の回復による水産資源の維持・増加を図る。			漁港内に人工礁等を設置し、生育環境の改善が図られている。この内、横田漁港では、面的なつながりをもった効果が発揮されるように機能の増進が進められ、継続的な取組が実施されている。
	イベント交流による活動支援	漁業者によって、観光客が訪れるイベントや、地魚を販売するイベントが行われ、観光客と地元住民が交流する場を設けることにより地域振興を図る。			横田漁港では、「横島底曳網観光」や「漁師の浜売りを定期的に実施し、漁業振興により地域の活性化を支援している。この取組等により、当該地域への移住者が増え、地魚を使った移住者との交流イベントが実施されるなど、さらなる地域活性化のための取組が図られている。
	広島県東部アサリ協議会組織の活動	串浜漁港周辺の干潟において、地元漁協、行政などが連携し、水産多面的機能発揮対策事業を活用し、アサリ漁場の復活に向け干潟の保全を図る活動を実施。			第1期(平成25年度～平成27年度)でチヌなどからの食害防止のための「被覆網によるアサリの安定的な育成方法」が確立され、第2期(平成29年度～平成32年度)ではさらに範囲を広げ、活動を続けている。この結果、10年以上売上がなかったアサリの漁獲が回復し始め、地域の活性化の取組が継続されている。
計画外で独自に実施した事業	該当無し				

④評価方法	関係部署で目標値の実施状況に関する評価・検討を行い、学識経験者に説明し、意見徴収した結果を踏まえ、計画全体の評価および今後の方針とした。
⑤中間評価の公表方法	広島県ホームページ、尾道市ホームページ
⑥計画全体の総合評価	本計画では、地方創生港整備推進交付金を活用し、港湾整備と漁港整備の連携を行うことにより、小型船舶や漁船の安全な係留区域の確保は進んでいる。しかし各整備については、一部進捗の遅れが生じており、地場産業の活力へ貢献するにはさらなる事業推進を図る必要がある。このため、漁場回復による活動や地魚のPR活動等と連携し、地域活性化への取り組みを積極的に行い、施設利用者が安全かつ便利に使用できるように引き続き事業を推進し、観光で賑わいのあるみなとづくりを地域が一体となって目指す。
⑦今後の方針等	本計画については、学識経験者からの意見を踏まえ、地場産業による活動と連携しながら積極的に取組み、みなとが活力と賑わいに溢れることを目指し進めていく。このため、事業期間の変更（2年間延伸）と事業費の増額を予定しており、成果の発現に向けて引き続き事業推進を図りたいと考えている。